

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

【凡事徹底】「当たり前のことをひたむきにやりきります。」

不祥事根絶のための行動計画

福山市立神辺中学校

作成責任者 校長 西川 紫

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事防止研修や服務研修において、時間確保が難しい。 ○教育公務員としての自覚を高め、生徒の良き手本となるようにさらに意識と行動を改める必要がある。	○計画的な研修だけでなく、職員朝会や日報で、チェックリスト等を活用して、日常的に一項目ずつ振り返りと確認を行う。 ○子どもたちを教育する者としての自覚を高め、生徒の良き手本となるようにさらに意識と行動を改める。	○年間指導計画に従って研修を充実させるとともに、ロールプレイなど研修方法の工夫によって、当事者意識を高める。 ○「決意表明」を常時携帯する。 ○報告・連絡・相談・確認を徹底する。 ○挨拶、身だしなみ、言葉遣い、時間厳守、「断・捨・離」によって整理整頓を心がける。	○学期に1回、服務研修等についてのアンケート調査を行う。 ○チェックリストを活用したり、個人面談を実施したりする。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○ともすれば教職員個人の判断や自覚に委ねられ、緊張感や危機管理意識が緩みがちである。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○日常的に「凡事徹底」を図り、当たり前のことをひたむきにやりきることで、緊張感を持って未然防止に取り組む。	○学年会や各分掌部会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○報告・連絡・相談・確認を徹底する。 ○未然防止のための行動マニュアルや危機管理マニュアルを作成・活用する。	○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○適宜マニュアルの内容については見直し・改善を図る。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」を周知はしているが、認知度・活用度が低い。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について、様々な方法によって周知徹底を繰り返し行うとともに相談しやすい体制をつくる。	○学校だより等で保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○担任や教育相談担当者等と相談しやすい人間関係や雰囲気醸成し、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。	○定期的に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。